

のうせい 佐用

農業委員会だより

第 38 号

平成 27 年 11 月 5 日発行

佐用町農業委員会

TEL.82-0667 (農林振興課)

FAX.82-0017

ちくさ刈



表紙紹介文章

三河小学校は、毎年全校生が高年クラブの方々のご指導、ご支援のもと米作りに励んでいます。籾まきから田植え、稲刈り、脱穀、もみすりと全て昔ながらの道具や機械を使って手作業で行います。この体験を通して、子どもたちは、収穫に至るまでの苦労がわかり、食べ物に対する感謝の心も養われています。また、11月には、お世話になった方々や家の人とともに餅つき大会をして、収穫を喜び合います。

主な記事から

- ☆ 真盛薬楽園にインタビュー . . . 2～3
- ☆ 農業委員会からのお知らせ . . . 4
- ☆ 農業者年金に加入しませんか . . . 4
- ☆ 編集後記 . . . 4



薬草を手に生育状況を委員に説明。出荷1カ月前で茎の背丈はすでに1m以上に育っています

インタビューの様子。今後の目標などを語ってくれました



成長したカワラヨモギの前で意気込みを見せるメンバー（左から腰前富男さん、衣笠昌博さん、高見省二さん、衣笠義人さん、徳力保夫さん、高見俊男さん）

ターン。もう一人も相生在住で、週に3から5日、真盛で農作業をしています。共通するのは、全員が元・サラリーマン。定年退職者ですが、集落ではまだまだ「若者」です。

耕作放棄地となってしまう原因の一つに、獣害と米価の先行き不安があります。柴谷地区の奥にある農地も鹿や猪などの獣害を完全には防げなくなり、放棄地が年々増加。獣害に強く、少ない費用で始められる作物の栽培が求められていました。

そこで、健康志向の中、未来展望もありそんな薬草の栽培を行うことに決めました。たくさんの種類がある薬草ですが、特に獣害に強く、販路がある「カワラヨモギ」を選びました。

元肥は鶏糞のみで、マルチを張って雑草を抑え、ほ場周りの雑草は手持ちの刈払い機で刈ります。収穫にも刈払い機を使用するので、高価な作業機械は必要ありません。また、10aあたり150㎡か

ら200㎡の収穫ができ、10aで30万円から40万円の収益になる見込みです。今年は約70aの田で栽培しています。

耕作放棄地ならうでの課題

小さな種を土に混ぜて時いたカワラヨモギ。生えてきた苗も小さく不安になりました。また、マルチの穴からは大きな草が生え出し、1本ずつ抜いていくことに苦勞しました。まとめて草を抜こうとするとヨモギと一緒に抜けてしまうこともありました。マルチとマルチの間の溝も草、草、草。刈機で刈った後に除草剤をまくといった対策をほどこしました。また、草が少ないほ場はカワラヨモギも生えてこなかったのです。持ち主が、前年に除草剤をまいたと聞かされ、納得しました。一人だったら無理だったかもしれない。

8月、カワラヨモギは成長して1mを超えました。横にも広がり、ほ場を埋め尽くし、雑草を抑えています。「カワラヨモギ栽培・薬

◎生産者にインタビュー

薬草で耕作放棄地を解消する

真盛薬楽園「カワラヨモギ栽培」

今月号は、薬草による耕作放棄地の解消で、地域の活性化を図る真盛薬楽園です

集落内の農地を守りたい

長年耕作されなくなった「耕作放棄地」。高齢化による農業の担い手不足などもあり、全国的に増え続けています。もちろん佐用町も例外ではありません。『真盛薬楽園』は、この放棄地を活用して「薬草」栽培に取り組んでいます。農家を悩ます獣害に強く、栽培しやすい薬草は、今注目の作物です。

真盛集落は、集落営農の取り組みが盛んで、町特産の「丹波黒」を主力に栽培、直販を行っています。真盛薬楽園は、同集落の有志6人で結成しました。結成のきっかけは、昨年11月。黒豆の収穫を終え、酒を酌み交わしながらの「うだうだ話」。「楽しみで、ぶどうを植えてみたんやけど、耕作放棄地が増えていて。農道が通りにくくなるほど。ほ場整備田がもったいないで。」といったひと言からでした。「そっか、どないかせなあかなー」「どないど考えてみよいやー」「どないどしよいやー」といった声がかみかみにあがり始め、活動を始めようことを決意しました。

メンバーのうち二人は農業経験がなく、一人は京都育ちで定年を機に

楽園」とほ場に書いた看板が大きくなったような気がします。よくぞここまで育ってくれました。

夢は薬草で「海外旅行」

この取り組みは、土地所有者や地元の理解と協力があってこそできるもの。本当に感謝しています。本来の目的は、耕作放棄地を解消すること。でも、メンバーは少しでも利益を出して「海外旅行」することを夢見ています。

初めての収穫までは「刈取り・乾燥・脱穀」とまだまだ予想できないことがあると思います。薬草栽培が真盛集落の将来に役立つと信じて、取り組みを続けていきたいと思います。

薬草栽培で真盛集落周辺の景観がよみがえりました。周囲の所有者からは、「わしらの田んぼもきれいにせな、はずかしゅうなっ たな！」との声も聞こえてきます。その言葉を、今後の活動の原動力に変えていきます。

農業委員会からの お知らせ

TEL 82-0667
information

農地パトロールを8月20日(木)に実施しました

農地の有効利用の推進を図るため、農業委員と事務局で調査班（4班）を編成し、町内の農地をパトロールしました。遊休農地の把握、許可案件などの履行状況の確認、違反転用の早期発見などの調査を行いました。



8月20日のパトロールの様子

今回の調査結果の整理と検討を行い、改善しなければならぬ農地は、是正指導や勧告を行うなど、耕作放棄地の解消に向けた取り組みを進めます。

耕作放棄地の発生防止

パトロールで、背丈の高い雑草の繁茂している農地が見られました。農業従事者の高齢化や後継者不足、獣害などで耕作放棄地が増えています。放棄された農地は病害虫の発生源となり、環境悪化や周辺農地への悪影響などにつながります。自ら管理・耕作できない場合は、利用権などを設定して、積極的に地域の担い手へ利用集積を図りましょう。農業委員会は、地域担当の農業委員と連携しながら、耕作放棄地の発生防止に力を入れていきます。

農地転用はご相談を

農地を農地以外の用途に転用するには許可が必要で

す。転用許可を受けないで農地転用を行ったり、許可の内容と異なる目的に転用したりした場合は、農地法に違反することになります。

- (1) 農地等の権利取得の効力が生じない
- (2) 原状回復、その他の違反行為の是正措置を命じられる
- (3) 3年以下の懲役又は300万円以下の罰金(法人は1億円以下の罰金)など厳しく罰せられます。

農地の貸借や売買、転用をお考えの際は、農業委員会までご相談ください。

農業者年金に加入しませんか

あなたの老後生活の備えは十分ですか？ 老後の備えは、国民年金プラス農業者年金が基本です。

農業者年金のメリット

- 農業者のかたなら広く加入できる
- 少子高齢化時代に強い積立方式（確定拠出型）の年金

年金

- 保険料の額は自由（月額2万から6万7千円）に決められる
- 終身年金で80歳までの保証付き
- 保険料の全額社会保険料控除など税制面の優遇措置
- 認定農業者など意欲ある担い手には保険料の国庫補助あり

担当エリアの変更

中尾正俊委員の辞職（辞職願提出）で、腰前正好委員の担当エリアが次のとおり変更になりましたので、お知らせします。

※変更後の追加地区
下徳久、林崎、東徳久、西徳久、平松

長田政俊委員ご逝去

9月24日に長田政俊委員（92歳）が亡くなられました。長年、町農業委員会委員として、町の農業振興にご尽力されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

黄金色に輝いていた稲穂も、刈り取りを終えようとしています。皆様の収穫量はいかがでしたか。農業者の高齢化、後継者不足、有害鳥獣による被害、米の価格低迷などの課題が山積するなか、新たな担い手を育てる支援策が必要です。

「農地中間管理事業」では、安心して農地を貸し出せることができ、集落で取り組むことで、耕作放棄地の発生を防ぎ、結果、優良農地を維持、さらに担い手育成にもつながります。

私たち農業委員も、こうした事業を推進することで、地域農業の発展に役立ちたいと考えます。

編集委員 福田 範 康

編集委員会

委員長 祐保 俊彦
副委員長 腰前 正好
委員 福田 範康
委員 小原 孝文
委員 高見 重嘉
委員 秋田 洋三
委員 森林 茂